

令和7年度組織目標 知事協議概要

部 局 名	総合企画部
日 時	令和7年(2025年)4月17日(木) 16:05~17:00
場 所	特別会議室
出 席 者	知事、東副知事、岸本副知事、知事公室長、総務部長、総務部管理監 部長、理事(人権・同和担当)、次長(兼こ滋賀推進監)、管理監(広域政策・地方分権・万博担当 広域政策推進室長事務取扱)、管理監(高等教育振興課長事務取扱 高専設置準備室長事務取扱)、管理監(大学連携推進室長事務取扱)、管理監(国際課長事務取扱)、企画調整課長、万博推進室長、新駅問題対策・特定プロジェクト推進室長、新駅問題対策・特定プロジェクト推進室 主席参事、県民活動生活課長、CO ₂ ネットゼロ推進課長、人権施策推進課長、DX推進課長、統計課長

発言者	発言概要
総務部長	14大学との連携について、大小あって状況も違うと思うが、大学間の連携はありえるのか。
管理監(大学連携推進室長事務取扱)	大学間の連携も必要だと思う。県としてマッチングできるのかどうか、大学とも意見交換していきたいと思う。
知事	規模や経営状況も違うので、メリハリや濃淡もつけながら考えていけばいいと思う。
総務部長	国勢調査の実施期間は全国共通なのか。地域の実情によって前倒しや後ろ倒し、期間の延長はできるのか。
統計課長	国スポを理由に期間を変更したことは過去にないと聞いている。今回は提出期限から督促開始までの期間を一定確保されるような見直しがあったが、これは国スポだからではなく、全国同じ。
知事	市町も含めて苦労している。調査員を増やすなどの工夫はあるのか。
統計課長	国が県内3箇所オンライン回答支援ブースを設置することになっているが、県でも独自に郵便局や地元企業に協力してもらいブースを増やす予定。
知事公室長	今年が万博や戦後80年の節目となる年になる。子どもをはじめとする次の世代に世界平和の意識をつないでいくための考えはあるか。 また、県の国際戦略の策定の時期はいつ頃になりそうか。
管理監(国際課長事務取扱)	湖南省の平和記念事業の準備を5年ほど進めており、今年の11月に実施する。双方の心が通い合うような事業とし、次世代につなげていけるものになりたい。 国際戦略については、姉妹都市やベトナム、オーストリアをはじめとし、ほかにもグローバサウスなど関係を持てる国々があると考えている。限られた人員を有効に活用できるよう、一定あたりをつけた戦略を考えたい。万博の出会いや今年度の事業の中で調査、検討をすすめ、戦略の策定は来年度になると考えている。
知事公室長	外国人県民も大切にしたい。先日の夜間中学の開校式でも多くの外国人が来られていた。
知事	多文化共生推進プランの懇話会の中でも本質的な意見が多くあった。プランの内容をどう知ってもらうか、外国人県民の権利と義務など、しっかりと考えていく必要がある。
管理監(国際課長事務取扱)	プランの中での取組としてしっかりと進めていく。
知事	万博に学校で参加した際の受け入れ体制や、実際に万博を体験した子どもたちの感性や感想に興味がある
万博推進室長	万博に参加した子どもたちに対する聞き取り等を行う。
知事	関西広域連合でも、万博については常に改善していこうと議論している。万博に関する情報は定期的に共有して欲しい。
岸本副知事	高専の準備については地域企業との連携も重視して欲しい。
管理監(高等教育振興課長事務取扱 高専設置準備室長事務取扱)	350以上の企業・団体に共創フォーラムに参加していただいている。

知事	金銭以外の視点でも地元企業に協力してもらうこともできるのでは。
管理監（高等教育振興課長事務取扱 高専設置準備室長事務取扱）	実習先としての受け入れや、技術を持っている人による指導など、の協力を地元企業に求めたいと考えている。
岸本副知事	14大学の中には経営が厳しいところもある。文科省も担当部局を立ち上げ、状況を把握しようとしている。県としてもどういう支援が必要か国に提案・意見していくべきでは。
管理監（大学連携推進室長事務取扱）	早期に各大学を回って、様々な意見交換をしていきたい。特に経営面は大きな課題と考えている。文科省にも積極的に話を聞くなどしてまいりたい。
岸本副知事	外国人に対する日本語教育は急務であり、環境整備や教員の確保などをしっかりと進めて欲しい。県大でも前向きに考えてくれている。
知事	滋賀県は母国語や文化も大事にしながら日本語教育を進めていることを先進地域としてアピールしてはどうか。
管理監（国際課長事務取扱）	今まではブラジルをはじめとする南米からの日系外国人が多かったが、現在はベトナムなど東南アジアからの方が増え多言語、多国籍化しているので、これらの動きを踏まえた行政サービスへのシフトが必要。
東副知事	北部振興について、今年度は5年間の取組の折り返しになるとのことだが、県の取組と市町の取組を一体的に発信する、などの工夫はないか。
新駅問題対策・特定プロジェクト推進室 主席参事	当初から北部3市と連携しながら進めてきたが、市や地域に取組が一定浸透し意識してもらえるようになってきたと感じている。今年度は中間評価として、各部局の意見も聞きながら、市の取組も踏まえるなど振り返りを行い今後につなげたい。
東副知事	施策をバラバラに見せるのではなく、一体的に見せていくことを十分意識してほしい。
知事	関係人口はどこまで増えてきたのか。
新駅問題対策・特定プロジェクト推進室 主席参事	現在集計中であるが、プロジェクトに着手した令和5年度からの2か年の累計が移住者と関係人口の合計で約1,400人となっている。
知事	このプロジェクトで何が変わって何が動いたのかは見せていくべき。
総合企画部長	5年間の期間が終わった先のことも意識しながら、今後も続いていくような見せ方を意識する必要があると考えている。
知事	北部は課題・可能性先進地域という視点で取組を始めてきたことを意識し、何が変化したのかを見せていくように。特に、ここまで知事が高校生と膝突き合わせているのは他都道府県でもあまりない。そのあたりも考えていくように。
新駅問題対策・特定プロジェクト推進室 主席参事	将来の担い手となっていただく高校生には期待している。今年度も高校生サミットは実施される予定
東副知事	高専の最初の入試はいつ頃になるのか。
管理監（高等教育振興課長事務取扱 高専設置準備室長事務取扱）	令和10年1月頃ではないかと思う。
知事	推薦入試は。
管理監（高等教育振興課長事務取扱 高専設置準備室長事務取扱）	推薦入試をすることになるなら、もう少し前の時期になるだろう。
東副知事	どのタイミングで対外的に滋賀県の高専をPRできるのか。カリキュラム等も含めて。

管理監（高等教育振興課長事務取扱 高専設置準備室長事務取扱）	認可申請の準備を進めていくうちに明らかになっていくので、そのあたりから対外的に発信していけると考えている。「認可申請中」として発信していくことが想定される。
東副知事	できるだけ早めにPRして、学生を募集していく必要がある。
知事	今年度中にそのあたりのスケジュールを共有していこう。近隣府県にも発信していく必要がある。
総合企画部長	広報戦略のスケジュールも考えていく。
東副知事	中小企業の脱炭素化支援策の見直しの方向は決まっているのか。
CO ₂ ネットゼロ推進課長	これまで中小企業への省エネ診断や省エネ・再エネ機器の導入支援などを行っているが、ノウハウがない、資金がない、経営状況が厳しいことなどもありあまり進んでいないところもある。脱炭素の取組が、例えば、省エネ・再エネによって光熱費等が下がっていく、余剰地を活用して再エネ事業を新たに行うなどにより、長期的には経営の改善につながることもあるため、そのような観点から支援策を再構築したい。
東副知事	そういうところに支援していくということか。
CO ₂ ネットゼロ推進課長	ノウハウの支援や経営改善にも資するという視点をしっかりPRしていくということもある。
知事	手のひらスマート県庁については、各部の取組や進捗をしっかりと共有していくように。人権施策は、多文化共生をはじめ、あらゆるテーマと絡めて進めていくように。基本構想の次期実施計画や次の基本構想の改定を進める際には、作る過程も大事にするように。特に「死」は意識していく。老い、病、災い、生きるなど、よりよく生きるために強く打ち出していくべき。広域連携については、関西広域連合長の県として、あらゆる施策で広域の視点を入れていけるように。関西広域連合で広域自治の研究会を立ち上げる。議論の一つに道州制も出てくるだろう。犯罪抑止はとともに関心を持っている。要因分析、再犯防止などもしっかりと進めてほしい。